

2016

6/12 日

立命館大学 衣笠キャンパス
末川記念会館 1F 講義室
13:00-16:45 (12:30 受付開始)

企画の趣旨

学校教育研究会は、立命館の校友教員や附属校教員、教職員など、教育に関わる者が学校教育における教育実践交流や研究活動などを行い、広く日本の教育界に貢献することを目的に設置されました。毎年春と秋の大会において、会員以外の皆様にも公開した講演会や分科会を開催し、教育の最前線の話について考える機会としてきました。

グローバル時代に生きるための資質能力を育成するために、学校教育における国際理解教育を充実させる必要性が指摘されています。持続可能な開発のための教育（ESD）の推進を世界に提起するなど、1950年代から国際理解教育に取り組んできた日本は、世界の国際理解教育を

リードしてきました。しかし、学校現場では、国際理解教育は、とっつきにくく、取り組みにくい教育であるという誤解があることも事実のようです。

そこで、本年度は、日本国際理解教育学会長の藤原孝章氏（同志社女子大学教授）をお招きし、国際理解教育の基本的な考え方や実践方法についてお話いただき、学校において国際理解教育にどのように取り組んでいけばよいのか、ともに学んでいきたいと思います。

グローバル時代の学校教育や国際理解教育の実践方法などにご関心をお持ちの皆様の参加をお待ちしています。

学校において国際理解教育に
どう取り組むか

講師 藤原 孝章 先生（同志社女子大学 現代社会学部 教授）

私立高校勤務の後、富山大学教授を経て現職。同志社女子大学 現代社会学部 前学部長。

専門領域は国際理解教育、社会科教育、シティズンシップ教育、グローバル教育。

日本国際理解教育学会会長として、中国や韓国の国際理解教育学会との交流を進められ、さらに、イギリス・シティズンシップ教育研究の第一人者として、シティズンシップ教育の国際会議に出席されるなど、国際理解教育やシティズンシップ教育の領域で、国際的に活躍されている。

学会等での主な活動

- ▶ 日本国際理解教育学会 会長（2013-現在） ▶ 全国社会科教育学会 理事（2002-現在）
- ▶ 日本グローバル教育学会 常任理事（2008-現在）

主な研究業績

- ▶ 『SDGsと開発教育』 学文社（2016/5）
- ▶ 『社会科教育のルネサンス—実践知を求めて—』 保育出版社（2016/4）
- ▶ 『18歳選挙権と市民教育ハンドブック』 開発教育協会（2016/2）
- ▶ 『国際理解教育ハンドブック—グローバルシティズンシップを育む—』 明石書店（2015/6）
- ▶ 『日韓でつくる国際理解教育』 明石書店（2014/5）
- ▶ 『時事問題学習の理論と実践—国際理解・シティズンシップを育む社会科教育』 福村出版（2009/1）
- ▶ 『シミュレーション教材「ひょうたん島問題」—多文化共生社会ニッポンの学習課題』 明石書店（2008/1）
- ▶ 『外国人労働者問題をどう教えるか—グローバル時代の国際理解教育』 明石書店（1994/4） 他多数

PROGRAM

- ・ 13:00—13:30 総 会
- ・ 13:30—15:30 講演会
- ・ 15:45—16:45 講師を囲んでの茶話会（会費無料）

お問い合わせ先

立命館学校教育研究会（事務局：教職教育課）

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL：077-561-5207 FAX：075-465-7861

<http://www.ritsumei.ac.jp/kyoshoku/kenkyukai/index.html/>

主催：立命館学校教育研究会

参加の申込みにつきましては、裏面をご参照ください。



